

シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
地歴公民	地 理 総 合	2	1		1～10

教科書	実教出版 新選地理総合 welcome to geography	副教材	帝国書院 世界の諸地域NOW2026
	山川出版社 基本地図帳 改定版		

科目の目標	<p>1. 現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景, 日常生活との関連を踏まえて考察する。</p> <p>2. 世界の諸地域の地理的特徴を理解し, 環境問題や社会問題についての関係性を理解する。</p> <p>3. 地理的思考力を身に着け, 今を生きる私たちが持続可能な社会の為にどのような形で社会と関わられるか考える。</p>
-------	---

科目の概要	<p>現代世界の地理的な諸地域(東アジア, 東南アジア, 南アジア, 西アジアと中央アジア, 北アフリカとサハラ以南の アフリカ, ヨーロッパ, ロシア, アングロアメリカ, ラテンアメリカ, オセアニア)に対する関心と課題意識を高め, 地域性を 踏まえて多面的・多角的に学ぶ。</p>
-------	---

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知識・技能」	②「課題対応力」, ③「論理的思考力」, ④「原因分析力」, ⑤「傾聴力」, ⑥「受 信・発信力」, ⑦「協働力」	⑧「行動力」, ⑨「自己管理能力」, ⑩「自 己実現力」
観 点 の 評 価	地理に関わる諸事象に関して, 世界の生活文化の多様性や, 地理的特性, 環境問題, 地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 地図や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に読み取る技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義, 特色や相互の関連を, 位置や分布, 場所, 人間と自然環境との相互依存関係, 地域などに着目して, 概念などを活用して多面的・多角的に考察する。また, 地理的な課題や解決方法について他者と議論して, より妥当な知恵を見出し, それらを適切に言語化する力を身につける。	授業の内外で, 地理に対して興味や関心を深め, 積極的に学習する力を高める。地理的思考力を大事にして, 現在の社会のありようを捉え, 自分が社会のなかで何ができるかを考え, よりよい社会の実現に向けて行動する力を身につける。
評 価 の 方 法	・定期試験	・レポート課題など文章化した成果物や発表 ・課題を見つけ, 解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動の様子

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第2編 1章 生活文化の多様性と国際理解 グループ2 産業の進展によって変化する生活文化 テーマ①経済発展で揺れ動く人々の暮らし（東アジア） 1：経済や貿易の発展・変容とその歴史 2：経済の発展と社会の変化 3：かわる暮らしと生活文化 【1学期 中間試験】 5月18日～21日	世界各地での人々の生活・文化は、その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解し、日本の生活・文化を絶対視することなく、教科書の写真・地図を正確に読み取り広い視野から異文化を理解・尊重する態度を身につける。中国の自然と農業を学び第二次世界大戦後営まれてきた人々の生活や文化が、近年の経済発展でどのように変化してきたのかを理解し、中国と日本の関係について考える。
	第2編 1章 生活文化の多様性と国際理解 グループ2 産業の進展によって変化する生活文化 テーマ①経済発展で揺れ動く人々の暮らし（東アジア） 4：政治体制の変容と産業・経済の進展 テーマ②経済の発展と人々の暮らし（東南アジア） 1：生業の変容と経済の発展 2：生業の変化とグローバル化 3：経済発展と地域内の連携 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	韓国について、第二次世界大戦後の朝鮮半島の歩みや自然環境、激変した経済と社会や生活・文化に注目し、日韓交流と将来の日韓関係について考える。東南アジアという地域に注目し、農業に大きく影響する自然環境や、現在の民族・宗教分布とその背景と知識を学び、伝統と高い経済成長による変化について理解を深める。ASEANの結びつきについて理解し、東アジア共同体の実現に向けた展望と課題について考える。
2 学 期	第2編 1章 生活文化の多様性と国際理解 グループ3 宗教に基づいた生活文化 導入：世界の多様な宗教 テーマ①ヒンドゥー教と結び付く生活文化（南アジア） テーマ②イスラームと結び付く生活文化（西アジア・北アフリカ） 【2学期 中間試験】 10月13日～16日	インドを中心とした南アジアで暮らす人々の民族・宗教分布の背景を学び、特にインドの宗教と密接に関連した生活と変化について、理解を深める。ムスリムが多く暮らす北アフリカ・西アジア・中央アジアでは、乾燥、イスラーム、石油という地域性を知識として身につけ、パレスチナ問題やイスラーム原理主義など激動する世界情勢について理解を深める。
	第2編 1章 生活文化の多様性と国際理解 グループ4 国家・民族・言語の結び付きと生活文化（ヨーロッパ） テーマ①国家の統合と生活文化（ヨーロッパ） 1：地域の統合につながる都市の歴史的な結び付き 2：地域の統合と多文化共生 3：地域の統合と農業 4：地域の統合と工業 【2学期 期末試験】 12月1日～7日	ヨーロッパは多様な自然と歴史、すなわち地域性を持っていて、EUを中心に一体化が進んでいることを理解する。第二次大戦後の平和への願いや経済的相互依存が結びつきを深めた経緯を学ぶ。経済統合に加え、共通の制度や人々の自由な移動が実現したが、地域性の違いで課題も生み出している要因について考える。地域性と一体化の両面からヨーロッパ社会を理解することは、国際社会を考える上で重要であることを理解する。
3 学 期	第2編 1章 生活文化の多様性と国際理解 グループ5 移民とともに形成された生活文化 導入：移民と多文化共生社会の形成 テーマ① 移民国家の形成と生活文化（北アメリカ） テーマ② 移民による多文化社会の形成と変容（ラテンアメリカ） テーマ③ 先住民と移民による多文化社会の発展（オセアニア） 【3学期 学年末試験】 3月4日～9日	アメリカ・カナダでは、移民社会と現在の多文化社会が、産業・大衆文化の形成にどのような影響を与えてきたかを理解する。多様な民族からなる中央・南アメリカにおいても、課題も含め理解する。多文化社会のオーストラリア・ニュージーランドでは、結びつきを強めているオセアニア地域について考察する。